

若者問題論 I

科目ナンバリング SOC-325
選択 2単位

井上 慧真

1. 授業の概要(ねらい)

若者問題は、教育・雇用・家族など多様な分野にわたり、また多くの関心を集めてきました。若者問題はときに1人ひとりの若者の個人的な問題として捉えられることがあります。しかし、よく見ると問題の背後に社会全体の課題があることがあります。若者問題論Ⅱは、とくに若者の「学校」、そして「就職」に関する問題を中心として、若者問題と社会全体の課題とのつながりについて考えます。

2. 授業の到達目標

若者をとりまく様々な問題について、自分自身の経験や自分の周囲の人々の経験に照らしながら、さらにより広い社会の問題として考えられるようになること。また、そのための手掛かりとなるこれまでの重要な事件・出来事やそれを読み解くための社会学的な考え方について理解すること。

3. 成績評価の方法および基準

授業中の小課題(40%)、期末レポート(60%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

濱口桂一郎著 『若者と労働——「入社」の仕組みから解きほぐす』 中央公論新社、2013年

濱口桂一郎著 『働く女子の運命』 文芸春秋、2015年

本田由紀著 『教育の職業的意義——若者・学校・社会をつなぐ』 筑摩書房、2009年

稲垣恭子著 『教育文化の社会学』 放送大学、2017年

香川めい・児玉英靖・相澤真一著 『＜高卒当然社会＞の戦後史』 新曜社、2014年

青砥恭・さいたまユースサポートネット編 『若者の居場所・貧困・セカンドチャンス』 太郎次郎社エディタス、2015年

5. 準備学修の内容

授業で扱ったテーマのなかから自分の関心のあるテーマを見つけ出し、関連する文献・論文・データ等を探し、読むこと。その内容を活かして期末レポートに取り組むこと。

6. その他履修上の注意事項

後期(若者問題論Ⅱ)は前期の内容の発展となるため、連続した履修をすすめます。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 若者期と青年期
- 【第3回】 青年期の大量化と「学生問題」
- 【第4回】 「誰もが高校に通える社会」の成立
- 【第5回】 高校からの中退と「学び直し」の環境
- 【第6回】 「ひきこもり」を捉える—実態把握と、当事者の経験の理解
- 【第7回】 大学生と「学生文化」
- 【第8回】 大学生と就職活動—最近の調査から
- 【第9回】 「就職」と「入社」は同じか？
- 【第10回】 「入社」の仕組みの変化
- 【第11回】 「正社員」とその周辺
- 【第12回】 「就職活動」の変化
- 【第13回】 ジェンダーと就職
- 【第14回】 「新しい働き方」は可能か？
- 【第15回】 まとめ